

平成 30 年度災害危機管理シンポジウム 次第

日時：2019 年 1 月 18 日（金）13:15～16:30（受付 12:45）

場所：沖縄産業振興センター内 中ホール（那覇市字小禄 1831 番地 1）

主催：公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団

趣旨：

本県では、1 万 6,000 人以上の外国人が暮らしています。その出身国籍は 120 カ国にも上り、それぞれの持つ習慣・文化の枠を超えて、地域社会は必然的に多様化せざるを得ない傾向にあります。加えて沖縄を訪れる外国人観光客数は、年間 200 万人を超えました。

このような状況の中、もし沖縄県で大規模な災害が発生した場合に、我々はどう乗り切るのか。空港や港が使えない、容易に他県からの応援が得られないとすると、どういことが起こるのか。

本シンポジウムは、基調講演とパネルディスカッションをととして、地域が抱える災害危機管理上の課題を掘り下げ、それぞれの立場で対応策について考える機会を持つことを目的に実施します。

次第：

13:15 開会

13:15～13:35 **【趣旨説明】災害時の外国人のニーズと財団の役割**

（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課長 根来 全功

13:35～15:05 **基調講演「迫り来る大規模災害」**

名古屋大学減災連携研究センター センター長 福和 伸夫

15:15～16:30 **パネルディスカッション**

「島嶼部の抱える問題と沖縄特有の地域防災について」

パネラー	名古屋大学減災連携研究センター センター長 福和 伸夫
	沖縄セルラー電話株式会社 常務取締役 技術本部長 山森 誠司
	琉球大学医学部附属病院 救急部長 久木田 一朗
	日本空港ビルデング株式会社 旅客ターミナル運営本部 施設運営部管理役 志摩 憲美
コーディネーター	一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎

16:30 閉会